

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	こどもサポート教室きらり向ヶ丘校		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 15日		2026年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 13 (93%)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 15日		2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者様や利用児童の特性に寄り添った支援内容の実施	ご利用時には、保護者の考えやお困りの主訴をお伺いし、利用児童をあらゆる視点でアセスメントしています。また、お子様が今後必要な経験を積めるよう保護者様に支援計画を提案し、段階的な成長を促す計画を作成しています。	利用児童や保護者との共有を重ね、お子様の状況の理解を深めることで、より実情に寄り添った支援内容の実施を心掛けております。
2	子どもの気持ちの居場所としての存在（共感的支援・居心地の良さ・安心感など）	お子様が支援にお越しになることで気持ちの安定をもたらす時間・空間となりえますよう、きらりでの活動内容を組んでおります。	各活動において「成功体験」「達成感」を感じることが出来る内容を組むことや、気兼ねなく穏やかな気持ちで過ごして頂けるような環境での支援を行っております。

3	保護者様と都度相談できる関係性づくり	フィードバックを中心にお子様やご家族の様子を伺い、必要に応じて困りごとの面談を行い、支援内容についてなど柔軟に対応できるよう努めています。また、利用者様とのLINEにて連絡・相談にも対応しています。	必要に応じて面談を行い、その時のお子様のご様子を共有することで、ご家族様の困りごとを解消できるよう努めております。
---	--------------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の方々との関わりのあるイベント等について	個別療育を求めらる利用者様が多いため、支援内容や方向性、時間などの調整が必要となり、地域活動への参加が難しい状況です。	地域や他事業所のイベントへの参加については、支援の目的に合致する児童に対し、参加の可否を検討いたします。
2	防災関係・非常時等の対応についての周知	マニュアル類が多種にわたるため、単に掲示するだけでは分かりにくい状況のため、ファイリングを行うなど整理をしてより分かりやすい形に改善を検討します。	内容ごとに、必要に応じて分かりやすい資料を作成する等行います。また、防災訓練などの実施についてはSNSなどを通じて発信し、活動を知って頂ければと考えております。
3	職員・指導員の人員配置・引き継ぎの安定度が充分でなかった点	職員の退職や休職が多かったことにより、支援の数に相応しい職員数の配置が追いつかず不足が生じてしまったり、新しく所属になった職員への引き継ぎが手薄になってしまいました。	利用者様の需要に応えられるよう、また、利用者様へ変更の依頼などが極力必要にならないよう、配置の改善を図ってまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果（児童発達支援）

事業所名 **こどもサポート教室さきり向け丘校**

公表日 **2026年 2月 14日**

利用児童数 **14** 回収数 **13 (93%)**

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	1	0	1	・広さは確保されているのではと思いま す	ご利用者様の特性を考慮したり、支援内 容に合わせて、パーテーションで区切っ て活動しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	4	0	0	・職員の不足で支援日程の変更を打診さ れた事があった。不足の状況は一時的な ものかも知れないが、毎週決められた時 間に予定通り通える体制を整えてほし い。／・支援が1人対1人で実施なので適 切だと思う。	職員の配置は指定基準を遵守していま すが、利用者様が多い日に需要に合わせた 人員を保持できなかった日もありまし た。需要に応えられるよう、配置の改善 を図ってまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思 いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	5	1	0	・スペース毎に「座って活動する場」 「遊び場」などイラストを貼るなどして わかりやすくなるかと良いかなと思いま す	ご提案をありがとうございます。お子様 によっては視覚の刺激で集中力が備って しまう場合がございますので、掲示物に ついては慎重に検討してまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いま すか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いま すか。	8	4	1	0	・白いパーテーションが倒れないかと気 になります。脚の部分が子どもに引っ掛 からないかと不安です	お子様がぶつかって怪我をなさらないよ う、柔らかめのパーテーションを使用し ております。脚の部分も含めてお子様の 安全には細心の注意を払って見守ってま いります。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支 援が受けられていると思いますか。	10	2	0	1		お子さま・保護者様のニーズを的確に把 握するため、日ごろから傾聴できるよう 努めております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容 と合っていると思いますか。	10	2	0	1	・提供時間が短い時があるようで気にな ります	支援は1回45分で統一しておりますが、お 子様の切り替えの安定度などによって多 少前後させて頂く場合がございます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	11	1	0	1	・支援計画の内容がどのように活動に生 かされているかよくわからないが、しっ かり作成してくださっていると思いま す	作成した計画の内容が支援に投影され、 どう生かされているかの詳しい説明を心 掛けてまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき 支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの 支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されてい ると思いますか。	10	1	0	2		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1	0	1		日々のミーティングで計画内容を都度確 認・意識し、支援内容に反映されるプロ グラムの実施に努めます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	7	4	1	1		「固定化する」か否かをお子様 の症状や特性を尊重して考え、より良い内容で支 援を行っております。
保 護 者 へ	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこども と活動する機会がありますか。	5	0	5	3		実施の有無につきましては、保護者様の 声・ご希望を鑑みまして、検討させて頂 きます。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	2	・支援の活動とどうリンクさせているの かを説明して頂けるとありがたいです。	支援の活動内容と支援計画の連動につ いて、保護者様への詳しい説明を心 掛けてまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレー ニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていま すか。	1	3	3	6	・参加していないのでわからないが、行 われているのではないかなと思う。	行政で実施される研修会などの情報案内 を必要に応じておこなっております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いま すか。	11	2	0	0		お子様の穏やかで安定した心情・ご成長 のために、今後も親御様方との共有を都 度行わせて頂きます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	9	3	1	0		支援の際以外も、家族支援としてご要望 に応じてご相談の機会をご用意させて いただきますのでお申し出ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いま すか。	12	1	0	0		

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	0	1	6	6		実施の方は、保護者様のご希望を鑑みまして検討させていただきます。ご兄弟様の支援につきましては、ご都合が合わせられる範囲で実施を検討させていただきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	9	1	0	3		ご相談やお話をする機会を設けて頂けるよう予定を組むことや、気兼ねなくお声掛け頂けるような環境づくりに努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	1	0	1		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	1	1	6		SNSでの掲載は頻回に更新できなかったため、定期的にご覧頂けるよう態勢を整えて参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1	0	1		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	4	2	4	・緊急時の避難方法など、どうするのだろうかと常に思っています（別の施設では経路についてなど説明があった）	各種マニュアルをご覧頂ける形をとれるように検討し、避難方法についてもご説明の機会を検討いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1	1	1	10		職員を中心に定期的に訓練を実施しておりますので、利用者様方にも発信して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8	0	0	5		安全を確保した支援を提供するとともに、安全計画の方も周知できるよう検討致します。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	5	0	0	8		職員で各災害時を想定しての研修を定期的実施しており、迅速な対応ができるようにしております。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1	0	0		お子様方が安心してきらりの時間を過ごして頂けるよう、常に心がけております。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1	0	0	・子どもがとにかく楽しみで、大好きな場所になっていることがありがたいです。	ありがとうございます。お子様が「行きたい」と思えるよう、楽しみを含めたプログラムを考えております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	3	0	0		児童・保護者の皆さまにご満足いただけるよう、今後も丁寧な支援とフォローを行ってまいります。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名		こどもサポート教室さりり向ヶ丘校			公表日	2025年 2月 14日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		利用者様の特性を考慮したり、支援内容に合わせてパーテーションで区切って活動しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	指導員の配置について、指定基準を遵守しています。	職員の人員の確保が難しい時期があったので、利用者様の需要に応えられるよう、配置の改善を図ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			教室が2階のため、利用児童・保護者様には階段に注意していただくよう呼び掛けています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個室が無いため、パーテーションにてプライバシーが守られるよう部屋を分け、個で過ごせる空間づくりをしています。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		日々のミーティングにて、支援や事務作業の反省点・改善案を話し合い実施しています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			ご協力頂いた事業所評価の結果を職員間で共有し、改善へ向けた取り組みをしています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	(未実施)	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		発達支援研究所の定例研修の他、外部研修にも積極的に参加しています。研修内容は、校舎内で共有しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		年に1回、更新して公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		社内で統一されたアセスメントシートを使用し、保護者のご意見を伺いながら支援計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		特性に合わせて、詳細かつ具体的な支援内容を設定しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画に沿った内容になるよう、随時ミーティングにて話し合いをしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		社内で統一のアセスメントシートと、校舎で使用している課題表を活用し、よりの確に状況を把握できるよう努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		特性に合わせ、詳細かつ具体的な支援内容を設定しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		校舎内で話し合い、プログラムを考案しています。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			固定化が必要な児童もおられるので、お子様のタイプにあったプログラムになるよう工夫しています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		基本は個別支援で行い、ほぼ月に1回の小集団の活動を組み合わせて実施しました。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		随時ミーティングを実施し、指導員間で共有する様にしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		随時ミーティングを実施し、指導員間で共有する様にしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎回支援記録を残し、職員間で情報共有をしています。	ミーティングにて児童の様子や支援内容を話し合い、改善に努めています。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		支援計画の更新時は親御様にヒアリングをさせて頂いております。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		児童と関わりのある関係機関と都度連携をさせて頂いております。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		社会との接点を増やすという観点から支援を行っています。また、保護者様のご希望に応じて園等との連携を図っております。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			環境の変化や入学に向けて保護者様との相談の時間を設けています。ご希望に合わせて学校との連携を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			川崎市の療育センターなど、利用者様の必要に応じて随時相談・連携をさせて頂いております。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		ご利用児童の園や学校との連携を通して、定型発達・通常級の児童との活動について幅が広がるよう助言を致しております。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		支援後にフィードバックを実施し、ご自宅や園でのご様子などについても傾聴するよう心がけております。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		家族支援やご相談の際に、対応についてアドバイスしています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		ご利用開始の前やご契約時に、丁寧な説明を心がけております。	変更点がある場合は、適宜丁寧な説明を実施しています。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者からの主訴やご要望等を基に、内容に了承を頂いた個別支援計画を作成しております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		支援後のフィードバックの際やLINE、電話、面談等でご相談に対しアドバイスをしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		支援の時だけでなく、保護者の困り感に応じて相談していただけるよう体制を作っています。	相談内容は迅速に職員間で共有し、対応できるよう努めています。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		ホームページのブログやSNSにて活動内容を掲載しています。	発信についての周知が行き届いていない側面があるので、認知が広がるように発信していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		保護者と職員間で情報を共有し、児童の特性に即した方法でおこなっています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	(現在は実施していません。)	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		実施した訓練実施報告は、校舎内の掲示板やブログ、SNSにて発信しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		訓練報告は校舎内の掲示板やブログ、SNSにて発信しています。	利用者様へ実施内容が伝わるよう、定期的な発信を目指します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用開始前の面談の際や、児童の個別情報シートにて把握させていただいております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食物提供はしていませんが、面談やご記入の書類にて確認をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		きらりの各教室の職員間で、定期的に研修等を実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		面談等でご家族様と共有し、ご理解とご協力をお願いします。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事例があった都度、日時、場所、気づきなども記載して作成し、職員間で共有できるようにしています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		社内で定期的に研修を実施しています。また、研修内容を校舎内で共有しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		マニュアルを作成し、校舎内で周知しています。	契約の際に、丁寧に説明をし承諾をいただいています。